

# 令和6年（2024）7月 入域観光客数概況（確定版）

91万5,400人  
対前年（R5）同月比 +13万6,600人、+17.5%  
※過去最高年度（R元）同月比 ▲4万8,200人、▲5.0%

【更新履歴】①令和6年8月26日速報版公表  
②令和6年10月25日確定版公表

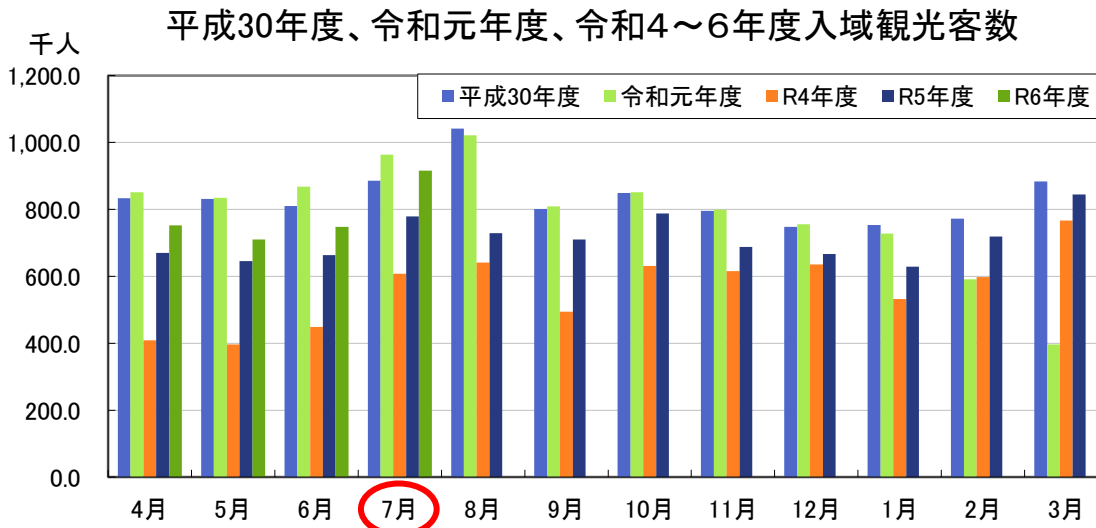
※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、10月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

## 入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	692,300人	663,600人	+28,700人	+4.3%	75.6%
空路	689,700人	654,900人	+34,800人	+5.3%	75.3%
海路	2,600人	8,700人	△6,100人	△70.1%	0.3%
外国客	223,100人	115,200人	+107,900人	+93.7%	24.4%
空路	134,100人	80,300人	+53,800人	+67.0%	14.6%
海路	89,000人	34,900人	+54,100人	+155.0%	9.7%
合計	915,400人	778,800人	+136,600人	+17.5%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等25,100人を含む。



## 国内客 入域状況

7月は、先島諸島に接近した台風による航空便の欠航等が発生したものの、航空会社の増便・臨時便・季節運航（東京、関西、名古屋方面）、県内花火大会をはじめとした各種イベントの開催等により、観光客数は前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客数は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	347,800人	333,400人	+14,400人	+4.3%	50.2%
関西方面	148,700人	140,200人	+8,500人	+6.1%	21.5%
福岡方面	81,800人	74,400人	+7,400人	+9.9%	11.8%
名古屋	56,700人	59,800人	△3,100人	△5.2%	8.2%
その他	57,300人	55,800人	+1,500人	+2.7%	8.3%
合計	692,300人	663,600人	+28,700人	+4.3%	100.0%

## 外国客 入域状況

7月は、那覇－仁川路線(7月19日～)の再開や定期便の増便、台湾(基隆・高雄)、中国(上海・蛇口)発着のクルーズ船寄港回数の増加等により、旅客数は前年同月を上回り好調に推移した。8月以降についても、那覇－福州線(9月10日～)の再開や那覇－台北路線の増便(10月27日～)夏休みシーズンに伴うクルーズ船寄港回数の増加等により、回復基調が続くと見込まれる。

- トピック
- ▶【タイ・台湾】タイ・ベトジェット航空は、11月2日からバンコクー台北経由ー沖縄路線の新規就航を決定し、毎日運航する。
  - ▶【台湾】スターラックス航空は、12月2日から那覇－台中路線を新規就航する。既に毎日運航している那覇－台北線と組み合わせた複数都市予約によって旅程を柔軟に組み立てることが可能となった。
  - ▶【韓国】アジアナ航空は、秋夕(チュソク)連休期間中(9/14日～18日)の旅行需要増加に対応するため、仁川発沖縄行き不定期便(8便)を追加運航した。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	91,300人	55,100人	+36,200人	+65.7%	40.9%
韓国	38,000人	25,700人	+12,300人	+47.9%	17.0%
中国本土	42,000人	4,900人	+37,100人	+757.1%	18.8%
香港	16,800人	14,500人	+2,300人	+15.9%	7.5%
アメリカ	2,100人	1,400人	+700人	+50.0%	0.9%
タイ	1,600人	100人	+1,500人	+1500.0%	0.7%
シンガポール	900人	100人	+800人	+800.0%	0.4%
その他	30,400人	13,400人	+17,000人	+126.9%	13.6%
合計	223,100人	115,200人	+107,900人	+93.7%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等25,100人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	59,100人	31,100人	+90.0%	44.1%	32,200人	24,000人	+34.2%	36.2%
韓国	38,000人	25,600人	+48.4%	28.3%	0人	100人	皆減	0.0%
中国本土	12,200人	4,900人	+149.0%	9.1%	29,800人	0人	皆増	33.5%
香港	15,700人	14,500人	+8.3%	11.7%	1,100人	0人	皆増	1.2%
アメリカ	1,900人	1,300人	+46.2%	1.4%	200人	100人	100.0%	0.2%
タイ	1,600人	100人	+1500.0%	1.2%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	900人	100人	+800.0%	0.7%	0人	0人	—	0.0%
その他	4,700人	2,700人	+74.1%	3.5%	25,700人	10,700人	+140.2%	28.9%
合計	134,100人	80,300人	+67.0%	100.0%	89,000人	34,900人	+155.0%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等25,100人を含む。

